

事業報告書

(令和2年度)

社会福祉法人 相模翔優会

特別養護老人ホーム ル・リアンふかみ

<目 次>

はじめに	2
1 理事会・評議員会開催状況	3
2 特別養護老人ホーム	3
(1) 利用者の状況とサービスの提供	3
(2) 介護主任総括	5
(3) 各ユニット報告	6
(4) 短期入所生活介護	10
(5) 利用者の健康状況	11
(6) サービスの質の向上	13
ア 相談部門	13
イ 機能訓練	16
ウ 食事の状況	17
エ 介護支援専門員	17
オ 口腔ケア指導	17
3 委員会報告	18
(1) 安全衛生委員会	18
(2) 介護サービス委員会	18
ア 食事・栄養	19
イ 排泄	19
ウ 入浴	19
エ 感染症・褥瘡予防	20
(3) 人権擁護委員会	21
(4) 総務委員会	23
ア 防災	23
イ 物品	24
(5) 行事企画担当	24
ア 研修	25
イ 行事企画	29
ウ ボランティア活動	30
エ 外部機関との関わり	30
オ 外部からのご支援	30
4 職員関係	31
(1) 職種別配置構成	31
(2) 資格取得構成	31
(3) 実習・見学・講師派遣	31
5 令和3年度に向けて	32

はじめに

令和2年度は、日本全体が新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、東京五輪の延期及び2度にわたる緊急事態宣言等がありました。施設においても館内面会の制限、ボランティア受け入れ及び外出行事の中止、地域交流の一環である夏祭り・バザー等の行事、ご利用者の楽しみ等家族との交流機会も失われた1年となりました。また、法人設立10周年行事を予定しておりましたが、コロナ禍のため中止とせざるを得ませんでした。

施設運営につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受けた年度と言えます。感染予防の観点から衛生用品の購入等により予防対策費用の増加、感染拡大による短期入所事業のご利用キャンセルなどが発生し、介護報酬に影響致しました。長期入所事業に至っても影響は否めず、入院したご利用者の退院が医療機関の感染予防によって延期されるなど、各事業の報酬にも多大な影響のあった1年となりました。

ご利用者サービス部門につきましてはコロナ禍の中、各ユニット毎の事業計画に基づくサービス提供を可能な限り行ってまいりました。居室担当制のケア、新規採用職員及び中堅職員の育成は、次年度の課題として令和3年度事業計画にお示し致します。

感染予防のため、大和市のご協力により施設従事者のPCR検査を1月から3月にかけて3度実施致しました。当施設としてもご利用者だけではなく、職員を守るため福利厚生の一環としてPCR検査、マスク配布、感染予防研修等を実施し、令和3年度も職員一丸となって感染予防に努めてまいります。

水害、地震、感染症等を想定した事業継続計画、災害時の職員体制等、今後起こりうる事象に対応した体制を構築することにより、ご利用者及びご家族等の皆様が安心して過ごせるよう、職員一同と共に目指しております。令和3年度の秋には施設開設10周年を迎え、勤続10年を迎える職員も多数おります。より良い施設となるよう、精進してまいります。

当施設を支えて下さった、ご利用者及びご家族、関係各位の皆様には謝意を申し述べます。

令和3年3月31日

特別養護老人ホーム
ル・リアンふかみ
施設長 小泉 昇

1 理事会・評議員会報告

理事会

(1) 理事会開催状況

理事 6 名 監事 2 名

回	開催年月日	出席者数	承認・決議事項
1	令和 2 年 6 月 5 日	理事 6 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告について 令和元年度決算報告について 監事監査及び財産目録について 次回理事会・評議員会開催について
2	令和 3 年 2 月 17 日	理事 6 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 次補正予算について 次年度借入金について 令和 3 年度事業計画について 予算について 次回理事会・評議員会開催について
3	令和 3 年 3 月 5 日	理事 6 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> 評議員期間満了に伴う次期評議員の推薦について 次年度借入先一部変更について 業務執行理事等について 次回理事会・評議員会開催について

評議員会

(2) 評議員会開催状況

評議員 7 名

回	開催年月日	出席者数	承認・決議事項
1	令和 2 年 6 月 22 日	評議員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告について 令和元年度決算報告について 監事監査及び財産目録について
2	令和 3 年 2 月 25 日	評議員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 次補正予算について 次年度借入金について 令和 3 年事業計画について

2 特別養護老人ホーム

(1) 利用者の状況とサービスの提供

ア 要介護度別

令和 3 年 3 月 31 日現在

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計 (人)
男性	0	0	7	9	3	19
女性	0	0	28	27	14	69
計	0	0	35	36	17	88

イ 要介護度別月末延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	29	29	30	29	30	32	32	32	33	33	33	34	376
要介護4	41	40	40	40	39	40	39	37	35	36	34	36	457
要介護5	18	18	18	19	18	17	15	15	17	17	17	18	207
計	88	87	88	88	87	89	86	84	85	86	84	88	1040

ウ 年齢別 ※平均年齢 88.1 歳 最高年齢 102 歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	計(人)
男性	1	0	0	1	8	5	4	19
女性	1	0	1	1	12	21	33	69
計	2	0	1	2	20	26	37	88

エ 入所前状況

	男性	女性	計(人)	備考
在宅	10	33	43	
グループホーム	3	3	6	
小規模多機能施設	1	0	1	
有料老人ホーム	1	11	12	
高齢者専用賃貸住宅	0	0	0	
老人保健施設	3	18	21	
病院	1	4	5	
計	19	69	88	

オ 要介護度別新規入所者数

	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	男性	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	女性	1	1	0	0	1	1	0	1	2	0	1	0	8
要介護4	男性	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
	女性	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	5
要介護5	男性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女性	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	4
合計		1	2	2	2	2	3	1	3	3	0	2	2	23

カ 退所理由

	逝去(看取り)	逝去(入院先)	長期入院	他施設入居	その他	計
男性	0	1	1	0	0	2

女性	5	9	7	1	1	23
合計	5	10	8	1	1	25

※平均在籍日数：1,037日（最長：3,259日 最短：116日）

キ 待機者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	2	3	18	17	7	47
女性	3	8	30	29	18	88
合計	5	11	48	46	25	135

※待機者所在 自宅：57名、医療機関：35名、施設：43名

ク 面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計(人)
面会者数	0	18	53	47	41	65	224
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
面会者数	70	52	26	39	43	45	275

年間合計 499人（月平均 41.5人）

※4月1日から5月22日まで新型コロナウイルス感染症拡大及び緊急事態宣言等により面会禁止措置。
5月23日より施設正面玄関にて窓越し面会体制を実施。但し、看取り及び体調変化が著しい方については施設判断で喫茶室及び居室内の面会とした。

(2) 介護主任 総括

一年を通して、新型コロナウイルス感染症対策の下、主任会を中心に、職員への伝達・報告・連絡を密にとりまいました。11月に職員1名の発症がありましたが、職員の日頃の対策への意識の高さから、それ以上の感染拡大もなく、終息となりました。職員の離職も例年に比べて抑えることができ、年次有給休暇の計画的付与も実施し、来年度も継続し実施してまいります。これまで派遣紹介会社からの職員募集が中心でしたが、ホームページやハローワーク、職員の紹介による入職が増え、年間通して派遣職員“0”で運営することができました。

職員の教育プログラムには、具体的なものを提示できず、教育に関するテーマは次年度に継続するものとなってしまいました。ファーストステップ研修、実習指導者講習会や他の外部研修にリーダー職など、指導に当たるべき職員に教育について学ぶことで次年度への準備が整いつつあります。主任会とリーダー、そして、他部署の職員と連携をとり、職員教育プログラムの構築と継続的な新人教育、中堅職員教育へ基礎を気づいていく事を来年度への主題としてまいります。

昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染に不安を感じている職員が多く、大和市のPCR検査の助成制度を活用し、延べ341回分検査を実施し、全員「低リスク」（体内に新型コロナウイルスは存在しない）との結果が出ました。それにより、新型コロナウイルスへの不安解消に繋がりましたが、まだまだ終息の兆しは見えないので、今後も施設一丸で感染予防に努めてまいります。

(3) 各ユニット報告

<1 階青ユニット>

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の身体状況に沿ったケアに努めます。 ・ご利用者やご家族のご意見、要望に応えられるよう努力します。 ・ご利用者の趣味・嗜好にあったレクリエーション等で日常生活に変化をつけていけるよう努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや言葉使いに配慮し、新型コロナウイルス感染症対策の中でも、ご利用者やご家族が触れあえるよう多職種との連携の下、要望への対応ができるように努めました。 ・内部研修に積極的に参加し、必要な技術・知識へ向上に意識が持てました。 ・集団でのレクリエーションへ積極的に働きかけることがおろそかになり、定期的に行うことができませんでした。しかし、レクリエーションや日頃の様子の写真などをご家族にお渡しし、お元気な様子をお伝えしました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの趣味・嗜好の時間を作ることができましたが、定期的なレクリエーションが出来ませんでした。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえながら、ご利用者の意見、要望をいかに、その方の趣味・嗜好にあったレクリエーション等で日常生活に変化をつけていけるよう努めます。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<1 階緑ユニット>

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族の声を聴き、アセスメントをもとにした根拠に基づいたケアに努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の要望を伺いながら、他職種とのカンファレンスを行い、介助の手順・手法を共有することで、ご利用者のゆっくりとしたご利用者自身の生活のリズムを保つことが出来ました。 ・新型コロナウイルス感染症対策の下、外出などの本来望まれていたレクリエーションなどはできませんでした。しかし、読書など余暇を過ごされる好みに合わせた対応に努めました。しかし、手作業を要すレクリエーションなどの工夫にいたりませんでした。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・個人での生活のペースを望まれるご利用者が多く、ユニットを挙げてのレクリエーションなどが定期的に行うことはできませんでした。 ・個々の生活のリズムを尊重しながら、余暇の過ごし方などを検討していく必要があると考えられます。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なレクリエーション、日常の余暇の過ごし方をご利用者ご家族の声を聴き、アセスメントをもとにした根拠に基づいたケアに努めます。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<1 階茜ユニット>

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者お一人お一人を尊重し、その人が持つべき意向や能力・残存機能に
---------	---

	<p>応じた個別ケアに努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な雰囲気の中、個々の生活空間を大切に、環境整備に努め安心して過ごせるよう支援します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・居室担当がご利用者のアセスメントを行うことにより、ご利用者の意向やADL、健康状態などの変化や情報をユニットや他職種へ発信、情報共有を行えました。 ・ご利用者の意向と残存機能に応じたケア方法の見直しや環境整備、個別ケア、24時間シートへの反映が迅速に行えました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・面会が制限されている中、職員とご家族のコミュニケーションを図る場が少なく、ご家族の要望やご利用者の様子などを職員がご家族に対して直接お話しすることができませんでした。 ・次年度も面会の制限は継続されることが考えられ、職員からも生活相談員にご家族への連絡を依頼し、ご家族に対しての情報を随時、発信していくことが必要と考えています。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションのようなグループでの取り組みだけでなく、居室担当を中心にしたご利用者ひとりひとりに関わる時間を設け、ニーズに合わせた個別ケアの取り組みを進めてまいります。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<2階紫ユニット>

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケアの向上を目指し、個々のニーズに焦点を当てたケアを行います。 ・ご利用者が在宅における生活との連続性を確保できるよう居室・共同生活室の環境整備に努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットでは職員が新型コロナウイルス感染症に1名罹患し、ユニット封鎖となりましたが、その中でも通常通りの業務を心掛け行う事ができ、可能な限り、ご利用者に不安にさせない対応が出来ました。 ・新型コロナウイルス感染症対策のもと、定期的なレクリエーションが、毎月行えました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の為、ご家族とのコミュニケーションに乏しく、ご利用者の生活情報の共有が頻繁に行えない等の状況でした。今後も面会制限となる可能性が考えられる為、他職種と連携しご家族やご利用者へ情報の提供が必要と考えています。 ・皮膚トラブルが多く発生するなど、適切な対応が十分に行えていなかった可能性が考えられます。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット内での情報共有を円滑に行い、ご利用者に合った生活が行えるよう努めます。 ・排泄、体位交換等適切に行い、皮膚トラブルの減少に努めます。 ・引き続き、ユニット内レクリエーションを毎月行い、ご利用者とのコミュニケーションを図ります。

行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見
<2 階青ユニット>	
令和2年度目標	・ご利用者の意思決定を尊重し、ご本人のペースで安全に生活を送れるように努めます。
取り組み評価	ユニット職員の新型コロナウイルス感染症罹患の為、ユニット封鎖となりご利用者の行動が制限されてしまう等、負担をかけましたが、職員で協力し通常通りの業務を行う事なるべく不安にさせない様、対応ができました。
反省点と要因	・新型コロナウイルス感染対策の為、職員とご家族のコミュニケーションの場が無く、ご家族の要望やご利用者の様子などを職員がご家族に対して直接お話しすることができない状況にあり次年度も面会の制限は継続されることが考えられます。職員からユニットの情報を他職種に多く発信していく必要があると考えています。 ・ご利用者の皮膚トラブルが増加傾向にあり、適切なケアが十分に行えていないと考えます。
次年度課題	・ユニットでの情報を円滑に他職種と共通し適切なケアに努めます。 ・排泄ケア、体位交換を適切に行い、明確に記録に記す事で皮膚トラブルの減少に努めます。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<2 階緑ユニット>

令和2年度目標	ご利用者個々の生活リズム、意向を尊重し、毎日を穏やかに過ごしていただけるように努めます。
取り組み評価	・毎月のレクリエーション・季節に合わせた催し・等を欠かさず実施することを通し、ご利用者の意向に向き合い、その様子をご家族に報告することで不安の解消に努めました。 ・適宜、職員間でのミーティングや多職種と情報共有することで、個別ケアに反映できました。
反省点と要因	ご家族との関わりについて、退所・居室変更・新規入居も重なり、また、コロナ禍にある現状からご家族とのコミュニケーションが乏しく、不安をお持ちであると思います。相談員、他職種と連携し不安の解消に努めることが必要であると考えます。
次年度課題	ご利用者、ご家族の不安解消に向け、関係をより一層深めていくことを今後の課題とするとともに、ご利用者の心身状態を把握し、配慮を欠かさず一人一人のADLや生活様態に応じたケアの向上に努めます。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<2 階茜ユニット>

令和2年度目標	・ご利用者、ご家族の満足度向上を目指して、ご利用者のQOLの向上・維持に繋がります。
取り組み評価	・退所・新規入居が続き、新しい対応が求められる中、適宜ミーティングをす

	<p>る事と、連絡、相談、報告を徹底し情報の共有をして柔軟に対応できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションや庭園の散策を通してご利用者とのコミュニケーションを深め、その様子を写真や一言メモなどでご家族に報告致しました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいご利用者も増え、ご家族との関わりも十分ではありませんでした。 ・フロア会議を十分に行えませんでした、必要に応じてカンファレンスはしていた為、ご利用者の変化にも柔軟に対応できました。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後ともご利用者、ご家族の意向に出来る限り寄り添い、質の高い個別ケアに取り組めるよう、フロア会議を定期的で開催いたします。 ・居室担当の役割に責任を持ちご利用者一人一人のより質が高く、充実した暮らしを送れるよう、支援してまいります。
行事	<ul style="list-style-type: none"> ・お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<3 階青ユニット>

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が、穏やかな日々を過ごせるようなケアに努めます。 ・ご利用者とご家族の希望に応え、ご利用者とご家族とユニット職員が良好な関係を築けるケアを目指します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種を交えたカンファレンスを行うことでご利用者にあわせた対応を適宜、検討し対応できました。 ・ご家族の希望に対して、申し送りの不備などで十分に対応しきれない部分もありました。 ・毎月の誕生会の開催と誕生月ではない月は、季節に合わせたレクリエーションを行い、楽しく過ごしていただくことが出来ました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りの徹底とご希望に対する対応を全員が共有し、わかりやすいように、時間や対応方法を統一することが十分にできませんでした。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りや連絡ノートなどを利用し、必要なことが全職員で共有し、統一したケアができるようにします。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<3 階紫ユニット>

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかな生活を送れるようなケアをする事を目指し、ご利用者とご家族の希望に応え、ご利用者とご家族、職員の心が通じ合うケアを行います。 ・ご利用者に対して、知識や技術を身につけ、適切なケアに努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、技術の習得がしっかりできたとは言えず、ご利用者に合わせたケアが十分にはできませんでした。 ・毎月の誕生会の開催と誕生月ではない月は、季節に合わせたレクリエーションを行い、楽しく過ごしていただくことが出来ました。
反省点と要因	<p>定期的なフロア会議が行えず、職員間で何が出来ず、どのような知識が必要なのか共通意識が十分に持てていませんでした。</p>
次年度課題	<p>定期的なフロア会議を実施し、今、何が必要かを共有し、内部研修の参加やユニット内での講習で適切なケアを行えるようにします。</p>
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

(4) 短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）

<3 階緑・茜ユニット>

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者ひとりひとりの意思及び人格を尊重し、居宅における生活と利用中の生活が連続したものになるように努めます。 ご利用者・ご家族が安心して利用できるサービスに努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様が楽しく、安全に生活ができるように支援できました。 在宅生活同様に、支障をきたさないよう、自立支援を念頭に援助を行うようにできました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物の件数は前年度に比べかなり減ってきているものなくなりませんでした。忘れ物が無くなるように努めます。 新型コロナウイルス感染対策のによりカラオケ等控え、代わりにビデオ鑑賞や施設内庭園のお散歩等に行事レクを変更し取り入れ経過していただくことが出来ました。 事故カンファレンスに日数がかかり、早急な開催ができませんでした。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> フロア会議は毎月開催しご利用者様に寄り添った声掛けなどを行います。 季節に応じたレクレーション含め、毎月実施に努めます。 利用者の状態の変化に敏速に気づき、接遇面もしっかり行き質の高いケアを行い楽しく、安心していただけるようにします。 事故後のカンファレンスを速やかに実施します。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

年間延利用日数（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	男性	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	12
	女性	2	3	4	5	5	3	4	5	4	4	3	3	45
要介護2	男性	1	1	3	3	2	1	2	3	3	4	2	2	28
	女性	5	4	4	7	9	6	7	5	7	7	8	10	79
要介護3	男性	4	3	3	3	2	4	2	2	2	3	3	3	34
	女性	11	13	12	14	15	14	14	13	11	10	10	9	146
要介護4	男性	5	5	6	5	4	4	6	5	4	4	4	4	56
	女性	7	8	10	10	8	9	9	9	7	9	9	9	104
要介護5	男性	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	35
	女性	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1	18
要支援1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	男性	13	12	16	15	12	13	14	13	13	15	14	14	164
	女性	27	30	32	38	39	33	35	33	30	31	32	32	392

合計	40	42	48	53	51	46	49	46	43	46	46	46	556
空所人数	15	62	73	56	5	17	52	49	67	106	67	31	600

新規利用者実人数（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	0	2	4	2	0	1	1	1	1	2	1	0	15
女性	2	3	3	5	5	2	3	2	1	4	2	3	35
合計	2	5	7	7	5	3	4	3	2	6	3	3	50

(5) 利用者の健康状況

月別入院者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
男性	0	0	0	3	2	0	5
女性	4	3	3	4	2	4	20
計	4	3	3	7	4	4	25
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計
男性	0	2	0	1	0	0	3
女性	4	0	0	4	2	2	12
計	4	2	0	5	2	2	15

入院状況

No.	性別	入院月日	症状・病名	入院日数	再入所日	備考
1	女性	4月9日	喉頭癌	20日		入院のままご退去
2	女性	4月13日	誤嚥性肺炎	1日		入院のままご逝去
3	女性	4月19日	吐血	1日		入院のままご退去
4	女性	4月24日	肝性脳症	13日	5月6日	
5	女性	5月14日	誤嚥性肺炎	34日	6月16日	
6	女性	5月21日	肺炎・尿路感染	12日	6月1日	
7	女性	5月23日	肺炎・痙攣	12日	6月3日	
8	女性	6月12日	肺炎	26日		入院のままご逝去
9	女性	6月14日	左大腿骨骨折	27日	7月10日	
10	女性	6月20日	脱水	14日		入院のままご逝去
11	男性	7月2日	肺炎	20日		入院のままご逝去
12	男性	7月3日	腸閉塞・肝臓癌	4日	7月6日	
13	男性	7月6日	誤嚥性肺炎	8日	7月13日	
14	女性	7月13日	誤嚥性肺炎	25日		入院のままご退去
15	女性	7月18日	褥瘡部炎症	31日	8月17日	
16	女性	7月23日	心不全	20日	8月11日	
17	女性	8月11日	食道静脈瘤	14日	8月24日	入院のままご退去
18	男性	8月21日	肝臓癌	14日		入院のままご退去

19	女性	8月23日	肺炎・尿路感染	13日	9月5日	
20	男性	8月25日	腎不全・肺炎	14日	9月7日	
21	女性	9月7日	誤嚥性肺炎・胃癌	15日		入院のままご逝去
22	女性	9月11日	小脳出血	10日		入院のままご退去
23	女性	9月13日	誤嚥性肺炎	16日	9月28日	
24	女性	9月21日	肺炎	5日		入院のままご逝去
25	女性	10月11日	肺炎	23日		入院のままご逝去
26	女性	10月15日	肺炎	28日		入院のままご逝去
27	女性	10月16日	誤嚥性肺炎	3日		入院のままご逝去
28	女性	10月23日	誤嚥性肺炎	37日		入院のままご退去
29	男性	11月9日	左大腿頸部骨折	73日	1月20日	
30	男性	11月16日	胆嚢炎・胆管炎	23日	12月8日	
31	女性	1月1日	肺炎	68日	3月9日	
32	女性	1月4日	左大腿頸部骨折	61日	3月5日	
33	男性	1月10日	誤嚥性肺炎	40日		入院のままご退去
34	女性	1月12日	肺炎	65日		入院のままご退去
35	女性	1月21日	右上腕骨骨折	38日	2月27日	
36	女性	2月14日	吐血精査	3日	2月16日	
37	女性	2月14日	肺炎	20日	3月5日	
38	女性	3月21日	心不全	1日		入院のままご逝去
39	女性	3月26日	門脈気腫疑い			
40	女性	3月31日	腎盂腎炎・敗血症			

疾患別

令和2年3月31日現在

No.	疾患系統	症状・病名	男性	女性	計(人)
1	悪性腫瘍	肝臓癌・乳がん・大腸がん	3	4	7
2	精神・脳神経系	精神疾患	2	8	10
		認知症	13	36	49
		パーキンソン病	1	2	3
3	消化器系	便秘	13	53	66
		胆嚢炎・胆石	2	3	5
4	腎臓系	腎不全	2	1	3
		尿路感染	0	2	2
5	心臓・血管系	心疾患・不整脈	5	21	26
		高血圧	8	37	45
		脳出血・脳梗塞	5	23	28
6	血液系	貧血	5	10	15
7	自己免疫系	関節リウマチ	1	2	3
8	骨・関節系	骨粗鬆症	3	6	9

		腰椎圧迫骨折	6	6	12
		変形性膝関節症	1	4	5
		大腿骨骨折	3	15	18
9	内分泌系	糖尿病	3	7	10
		高脂血症	1	8	9
10	感覚器系	白内障	0	8	8
		緑内障	2	2	4
11	呼吸器系	肺炎	3	12	15

(6) サービスの質の向上

令和元年度から継続して、新型コロナウイルスが猛威を振るっており、朝礼や会議内でもこまめに情報発信及び注意喚起を行いました。しかし、昨年 11 月 26 日に施設として 1 例目となる施設職員の新型コロナウイルス感染症が確認されました。関係各所（行政や保健所、医療機関、ご家族等）とこまめな連絡や調整を行いました。1 例目ということもあり、たくさんの混乱が生じ、ご利用者及びご家族等の方々への不安を招く結果となりました。1 例目の感染により多くの課題点が挙げられ、こまめな打ち合わせや協議を行う事により、その後は、ご利用者や他職員への感染拡大とは至らず、終息する事ができました。しかし、ご利用者やご家族等の不安解消のため、今後も感染予防に十分努めてまいります。

2 度にわたる緊急事態宣言が発令され、ご利用者とご家族等との面会も制限せざるを得ない状況が続きました。毎月、請求書にご利用者の近況を書面をもってお伝えするとともに、普段のご様子が分かるお写真を同封することで、ご家族等からは元気な姿を見ることができてよいとご好評頂いております。今後も、ご利用者及びご家族等の安心感に努めてまいります。

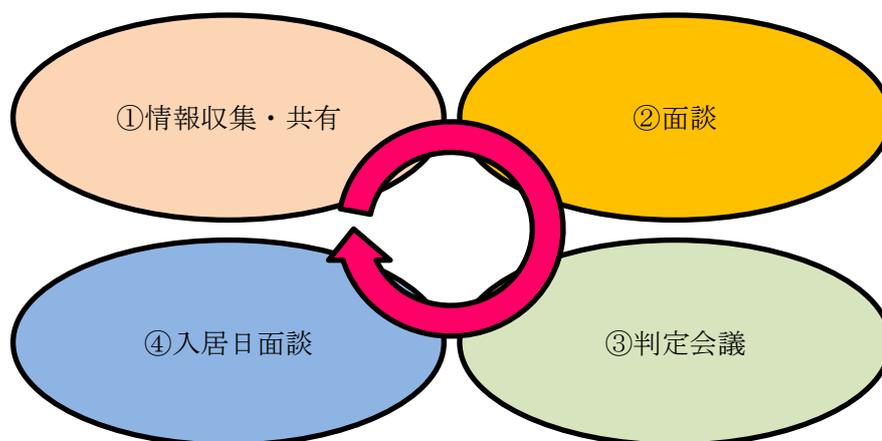
ア 相談担当

令和 2 年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した事業運営のため、適切な収益確保、入退去の効率化に努めます。 ・ 相談員間で入居待機者の把握を行い、空所期間を短縮します。 ・ 入居及び短期入所の目標稼働率を 95%とします。 ・ 外部研修や資格取得を目指し、福祉専門職としての質を高めます。 ・ 地域の介護支援事業所関連の研修や勉強会に積極的に参加します。
-----------	---

<p>取り組み評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度における長期入所及び短期入所の平均稼働率は年間 94.0%となり、目標稼働率を大きく下回る結果となりました。サービス別の年間平均稼働率として、入居 90.7%、短期入所 97.2%となりました。 ・ 長期入所での入院は 40 件で、うち 36 件（延べ 625 日）が内科的疾患による入院で例年と比較すると非常に多く、19 件が入院のままご逝去による退去、骨折による入院は 4 件（延べ 199 日）となり、入院日数は延べ 824 日で、平均入院日数は 21.6 日で推移致しました。骨折は長期入院や療養を必要とするケースが 4 件、保存療法等の入院を必要としないケースも 4 件となり、前年度（令和元年）と比較すると、件数としては大幅に減少させることが出来ました。 ・ 短期入所に関して、年度当初より全国的な新型コロナウイルス感染症拡大により、令和 2 年 4 月 7 日に神奈川県を含む 7 都府県に緊急事態宣言がは発出され、さらに 4 月 16 日からは全国規模に緊急事態宣言拡大しました。そのため、年度当初の 4 月から 5 月はご利用による新型コロナウイルス感染拡大の懸念や利用目的消失等により多数のキャンセル発生に繋がりました。また、近隣の介護事業所においては、在宅系サービスでのクラスターや感染拡大がありました。年間稼働率は 97.1%で目標に掲げた年間稼働率は 95%を達成できました。
<p>反省点と要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期入所者の退所が予想される状況での事前面談は月平均 5 件実施致しました。しかし、居宅系サービスをご利用されている申込者で早期入所を希望しているケースについては、面談後入居の打診や意向確認を行うも実際には早期入居を希望されない方が多くいました。そのため、年度下半期は有料老人ホームや老人保健施設等の高齢者施設や病院等を中心の面談にシフトせざるを得ない状況となりました。 ・ 入居者の入院や退所等で居室が空いている際に積極的に短期入所生活介護で空床利用する事が出来なかった。
<p>次年度課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した事業運営のため、適切な収益確保や入退所の効率化に努めます。 ・ 相談員間で入居待機者の把握を行い、空床期間を短縮します。 ・ 入居及び短期入所の目標稼働率を通年97%とします。 ・ 生活相談員に必要なソーシャルワークを学ぶため研修参加や資格取得を目指し、相談の専門職としての質を高めます。 ・ 介護支援事業所関連の研修や勉強会に積極的に参加します。
<p>次年度の取り組み</p>	<p>【入居・短期入所共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護及び看護と協力し、小さな体調変化に迅速に対応し、体調不良の重症化を未然に防ぎます。長期入院や退所による空床の減少に努めます。 ・ 相談員間の連携に努め、情報共有により、相互連携に努めてまいります。

【入居】

退居から入居までを遅滞することなく、入居希望者の対応を円滑に努めます。
①～④のサイクルで活動します。



① 入居希望者の状況収集・情報共有

- ・ 入居申込書を基に、申込者や担当ケアマネジャー、医療相談員等に連絡し、申込書には記載されていない細かな情報収集を行います。
- ・ 申し込みから3ヶ月以上経過した方については入居意思を確認します。既に他施設に入居している方は速やかに待機者リストを整理します。
- ・ 相談員間で、情報収集した内容を共有します。常時20名を候補者として挙げます。

② 面談

優先順位の高い方や受け入れ可能である方については、相談員間で随時面談に伺います。

③ 入退所判定会議

- ・ 面談結果を基に、各専門職との情報共有及び受け入れについて確認します。候補者については原則受け入れ決定の場とします。
- ・ 現入居者で体調が不安定な方（看取り契約済みの方も含む）や長期医療機関入院を避けられない方がいる状況であっても、空床期間削減のために、判定会後速やかに健康診断打診をします。

④ 入居日相談

- ・ 必要書類が整い次第、入居日を相談します。
- ・ 健康診断書や診療情報提供書等は概ね3ヶ月有効とし、急な退所にもスムーズにご案内します。

【短期入所】

- ・ ご自宅での生活状況を適切にアセスメントし、短期入所生活介護との生活の連動性を意識していきます。また、ご利用者が安心できる生活を送れるように努めます。
- ・ 居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、医療機関と密に連絡等行い信頼関係の構築に努めます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急でご利用相談があった時は、入院等で空室となっている居室を有効活用し受け入れを行います。 ・ 空き状況を定期的に電話やFAXでお知らせし、新規ご利用者獲得に努めます。
--	---

イ 機能訓練

令和2年度目標	ご利用者の身体機能の把握に努め、個人の生活に沿い無理のない個別機能訓練プログラムの立案・実施をする事でADLの低下を最小限に留められる様努めます。
取り組み評価	<p>【ご利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各個人の個別機能訓練計画書は3か月毎に見直しを行っており、生活動作に無理のない範囲で訓練を組み込んでいます。状態変化時は、カンファレンスを開催し、福祉用具見直しや訓練内容の見直しを行い、個々人の状況にあった内容を提供できました。今後も継続してまいります。 ・ 機能訓練は、毎日の生活の中に無理のない範囲で計画し、体調不良で実施できない日もありましたが、概ね計画通り実施できました。 ・ 入院後、退院した契機で機能評価を行い、状況変化があれば訓練内容の見直しを行いました。 ・ 集団体操は、新型コロナウイルス感染症を鑑みてユニット毎で実施し、希望者やその場にいる方々を中心に実施しました。 <p>【職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職員に頻繁に声掛けを行い、職員側からも声を掛けてもらい、コミュニケーションを取ることができました。 ・ 安全な介助方法や福祉用具選定は、都度カンファレンスを開催することにより、連携が深まることでスムーズな対応ができました。カンファレンス後にも介護職員からフィードバックがあり、ご利用者により良い方法を提供できました。
反省点と要因	<p>【ご利用者】</p> <p>意欲をもって訓練をするようになった方もおられますが、逆に体操に参加されなくなった方もいらっしゃいました。</p> <p>【職員】</p> <p>指示したことの伝達が不十分なこともありましたが、連絡方法の見直しを行い、複数の介護職員へ声掛けを行いました。</p>
次年度課題	新型コロナウイルス感染症対策次第ですが、可能な範囲でユニットを跨った交流の機会を作り、意欲向上の一助になるよう努めます。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者の身体状況を把握し、適切な訓練の計画・実施に努めます。 ・ ご利用者とのコミュニケーションをとり、信頼関係の構築。維持に努めます。 ・ 多職種や介護職員と密に連携するよう努めます。

ウ 食事の状況

令和3年3月31日現在

主食	人数	副食	人数	療養食	人数	備考
米飯	36	常食	24	減塩食	5	
粥	57	一口大	19	貧血食	13	
ミキサー粥	10	刻み	29	脂質異常食	0	
パン	0	極刻み	18	EC食	1	
パン粥	0	ミキサー	13	腎臓食	0	減塩食に含む
計(人)	103	計(人)	103	計(人)	19	
経口維持加算 I 64人						

エ 介護支援専門員

令和2年度目標	ご利用者及びご家族の意向に沿った内容が盛り込まれた施設支援計画の作成を致します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> 一日を通じて館内を巡回する事ができました。職員との情報共有を行い現在の身体状況に沿ったサービス内容の作成をしました。 新規入居者が年間で20名を超えましたが、相談員が事前の面談が思うように出来ない中、現在の心身状態に近づけるように相談をしてから施設サービス計画書を作成をしました。 ご利用者の長期・短期目標は入退院時には内容の変更見直しが出来ました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発出により、ご家族の面会が叶わぬ期間があった為、要望の聞き取りが不十分でした。 施設サービス計画書の内容に個別性がなくなってしまったのではないかと思います。
次年度課題	職員からの聞き取りにより、ご利用者の要望を内容に盛り込んだ施設サービス計画書を作成します。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 長期・短期目標の見直しは退院時や身体状況に変化が見られ、サービス計画書の変更が必要と考えられる場合に長期及び短期目標の見直しを行います。 今年度末現在のご利用者は、次年度に認定更新が21名の予定なので認定調査員に正確な情報が伝える事ができるよう、事前の情報収集に努めます。

オ 口腔ケア指導

取り組み評価	<p>年度初めより新型コロナウイルス感染症対策のため、口腔ケア指導を中止し、7月より歯科衛生士による口腔ケア指導を再開しました。各ユニットのご利用者1～2名に焦点を当て、口腔ケアが難しい方を中心に適切な口腔ケアの指導を受けました。令和3年1月8日～3月7日までは、緊急事態宣言発令により口腔ケア指導を一時的に中止せざるを得ない状況となりましたが、歯科往診の診察及び治療の際に、歯科医師及び歯科衛生士により口頭指導を受けました。ほとんどのご利用者の嚥下状態の低下は否めないことから、適切な食事形態での提供及び口腔ケア実施に努め、誤嚥性肺炎の予防に努めてまいります。</p>
--------	---

3 委員会報告

(1) 安全衛生委員会

令和2年度目標	安全な職場環境づくりの取り組みと職員の健康管理に努めます
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月第1月曜日に産業医を招き、安全衛生委員会を実施しました。 ・ 産業医による個人面談を実施しました。(毎月3名) ・ 腰痛予防として職員でのラジオ体操を始めました。 ・ 施設内の環境整備に努め、転倒災害は発生しませんでした。
反省点と要因	腰痛予防の体操は朝礼前だけなので、施設全体で実施できるよう努めます。
次年度課題	感染症予防対策の強化に努め、環境整備をしっかりと実施します。
次年度の取り組み	年間計画は職場のストレスと環境整備に重点を置いた計画になります。

(2) 介護サービス委員会

ア 食事・栄養担当

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べることを通して、ご利用者1人ひとりの栄養状態を把握し、生活の質の向上に貢献します。 ・ 栄養ケア計画に基づき、ご利用者の口から食べる楽しみを支援します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒研修及び行事食については、提出計画通りに実施できました。 ・ 新型コロナウイルス感染症流行の影響により、歯科医師や歯科衛生士によるミールラウンドが中止となった月がありました。現在は各主任と協議し、スムーズに行うことができています。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な行事や外出機会が失われました。厨房委託業者からの提案により、当法人後援会のご協賛によりご利用者皆様にお刺身を提供させて頂くことができました。 <p style="text-align: center;">【9月敬老会の写真】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【3月お刺身の写真】</p>
反省点と要因	報告・連絡・相談がスムーズでないことがありました。今後とも各部署との連携に留意します。
次年度課題	他職種と連携を取りながら、ご利用者のサービスの安定に努め、安心して生活していただけるよう努めます。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月、季節に合わせた行事食の提案・提供、掲示物等工夫し、認知度を高めます。 ・ その他、食事・栄養における課題について取り組みます。

イ 排泄担当

令和2年度目標	一人ひとりの状態にあわせた排泄介助をユニットで共有し、統一した方法で介助します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚トラブルに応じた排泄ケアを実施できました。 ・ご利用者のプライバシーに配慮したケアを実施できました。 ・排泄介助研修を計2回実施しました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚トラブル・褥瘡が発生したご利用者が昨年度より増加となりました。 ・排泄アセスメントの意識が十分でなく、他職種と連携を図ることで、より個別性を意識した排泄介助の実施が、今後必要であると考えました。
次年度課題	一人ひとりの状態にあわせた排泄介助をユニットで共有し、各職員が統一し、かつ適切な方法で介助します。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニットにおいてご利用者個別の排泄リズムが考慮された排泄介助方法を検討し見直しをしていきます。 ・排泄用品を検討することで、ご利用者が不快感な思いをされないようにいたします。 ・コスト意識を高く持って、経費削減に努めます。

ウ 入浴担当

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴介助に必要な物品の補修・交換を検討します。 ・入浴担当職員とユニット職員の意見を聞き、ご利用者が満足して頂けるケアを目指します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の楽しみの一つとして、ゆず湯や菖蒲湯を実施することにより、入浴時に季節感を感じて頂けることができました。 ・ご利用者の状態変化により、入浴方法の検討が必要な場合、他職種との連携やカンファレンス等を行い、状態に合わせた入浴方法へ変更できました。 ・新しい入浴機器やスライドボードの導入により、ご利用者の状態に合わせた入浴方法の実施、対応職員の腰痛予防や負担の軽減に繋がりました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
反省点と要因	他職種・ユニット職員との連携が不十分なところがあり、連絡が徹底されていない場面が時折みられていました。

次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の状態に合わせた入浴方法・時間を検討します。 ・ご利用者のプライバシーに配慮したケアを追求します。 ・入浴介助における職員の技術向上を目指します。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴介助に必要な物品の補修・交換を検討します。 ・入浴担当職員とユニット職員の意見を聞き、ご利用者が満足して頂けるケアを目指します。

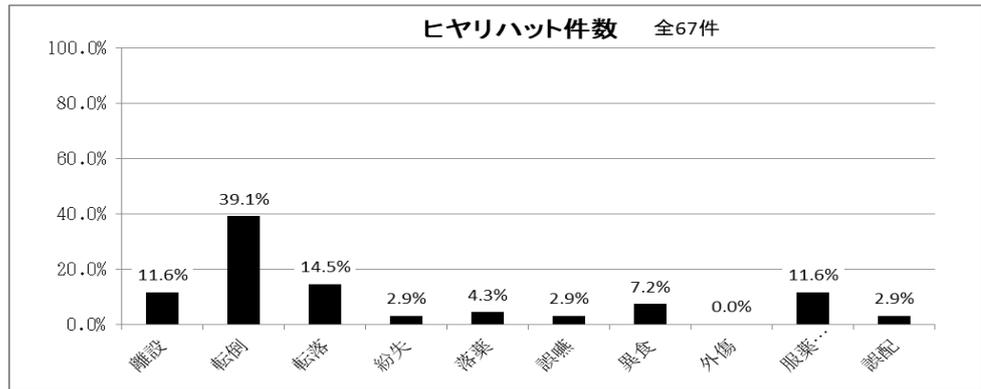
エ 感染症・褥瘡予防

開催回数・出席人数	5月19日…8名 8月18日…11名 11月17日…7名 2月16日…8名
令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症についての研修を実施し、職員全体の知識向上に努めます。 ・皮膚トラブルの速やかな対応と褥瘡予防に努めます。 ・外部研修に参加し知識の向上に努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防研修を行い、新入職員や非常勤職員も含む全職員に対して感染症に関する知識の向上だけでなく、感染症発生時や疑われる場合の速やかな対応と対応方法の統一を行うことができました。 ・衛生管理マニュアルを作成し、施設全体での衛生管理に関する実施方法を統一することができました。 ・ご利用者の状態に合わせ、除圧マット及びクッションの使用方法について、他職種を交えてカンファレンスを開き、都度、対応してまいりました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚トラブル発生時の対応は他職種との連携により速やかに対応できました。しかし、今年度は皮膚トラブルの発生が多く、要因として褥瘡予防や職員の気づきが不足してことが原因と考えられます。次年度は他職種との連携を強化し、褥瘡に関する研修に力を注いでまいります。 ・今年度と同様に、新型コロナウイルス感染症予防への意識を高く維持してまいります。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に対する知識向上に加え、施設全体での予防や対策・対応を行えるよう、研修を実施致します。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関わる研修を実施し、職員全体の知識向上に努めます。 ・他職種と連携し、褥瘡予防と皮膚トラブル軽減に速やかな対応に努めます。 ・新型コロナウイルス感染対応を多職種と連携して取り組みます。 ・感染症予防指針を職員間に提示して行います。

(3) 人権擁護委員会（兼身体拘束適正化委員会）

※4月・7月・10月・1月については、身体拘束適正委員会も兼ねて人権擁護委員会を開催しました。

<p>開催回数・出席人数</p>	<p>4月14日…10名 5月12日…8名 6月9日…13名 7月14日…12名 8月11日…10名 9月8日…10名</p>	<p>10月13日…12名 11月10日…12名 12月8日…14名 1月12日…12名 2月9日…13名 3月9日…16名</p>																																
<p>令和2年度目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に尊厳ある支援・ケア実施に努めます。 ・不適切なケアを撲滅し、適切なケアを推進します。 ・日常の関わりでも不適切な言動に対して、注意喚起を行います。 ・常に「自分自身が受けたいケア」を念頭に置き、委員が他職員の模範となるよう行動し、ご利用者の立場に立ったケアを実施します。 																																	
<p>取り組み評価</p>	<p>【事故予防関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体状況の細かな観察により、小さな内出血や創傷の報告が例年通り多く上がりました。 ・ご利用者の動きや状態の変化、多職種で構成される委員会である事から、介助方法や工夫を多角的に検討する事ができました。 ・事故発生件数は212件となり前年度と比較すると若干ではありますが減少に繋げることができました。 <p>【人権擁護関連】</p> <p>高齢者虐待に関する自己点検シートを用いて、高齢者虐待予防研修を年2回実施しました。また、接遇マナーや法令遵守、プライバシー保護研修を概ね計画に沿って実施しました。</p> <p>【苦情解決関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、ご家族等による面会が大幅に縮小されていたためか、苦情発生はご利用者の処置内容の1件のみとなりました。また、新型コロナウイルス感染症予防のため、各第三者委員へ苦情内容を郵送し、ご助言を頂きました。 																																	
<p>反省点と要因</p>	<p>【事故予防関連】</p> <table border="1"> <caption>種類別事故件数 全212件</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>転倒</td><td>13.7%</td></tr> <tr><td>転落</td><td>8.5%</td></tr> <tr><td>外傷</td><td>55.2%</td></tr> <tr><td>骨折</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>誤嚥</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>誤薬</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>異食</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>離脱</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>トラブル</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>車両</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紛失</td><td>0.9%</td></tr> <tr><td>盗難</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>自傷</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>破損</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>11.3%</td></tr> </tbody> </table>		種類	割合	転倒	13.7%	転落	8.5%	外傷	55.2%	骨折	3.8%	誤嚥	0.0%	誤薬	4.2%	異食	1.9%	離脱	0.0%	トラブル	0.5%	車両	0.0%	紛失	0.9%	盗難	0.0%	自傷	0.0%	破損	0.0%	その他	11.3%
種類	割合																																	
転倒	13.7%																																	
転落	8.5%																																	
外傷	55.2%																																	
骨折	3.8%																																	
誤嚥	0.0%																																	
誤薬	4.2%																																	
異食	1.9%																																	
離脱	0.0%																																	
トラブル	0.5%																																	
車両	0.0%																																	
紛失	0.9%																																	
盗難	0.0%																																	
自傷	0.0%																																	
破損	0.0%																																	
その他	11.3%																																	



令和2年度における事故発生件数は212件で、骨折を伴う事故は8件発生しました。しかし、令和元年度は221件発生し、うち骨折は11件だったことから、僅かではありますが、9件減少しました。傾向としては、下肢筋力低下や立位不安定が見られ、日常的に介助で移動や移乗する方の骨折事故が多く見られ、防ぎきれず骨折に至ってしまいました。しかし、身体状況や筋力低下など身体状況の変化により、多職種で介助方法の検討をこまめに実施した結果として、減少に繋がったと思われます。その他内出血等の外傷は212件中117件となりました。令和元年度と比較し31件減少に転じておりますが、身体皮膚状況をこまめに把握することにより、内出血等から表皮剥離への発展をできる限り予防するよう努めました。

【人権擁護関連】

委員会メンバー主催による接遇マナー研修や法令遵守、プライバシー保護高齢者虐待防止研修、事故予防研修など様々な内部研修を実施する事ができました。委員会内では他施設等で起こった高齢者虐待の報道やニュースを取り上げ、注意喚起を実施しました。接遇面については、人権や権利擁護を推進する委員会としては、まだまだ言葉掛けや接し方については十分ではありません。委員会メンバーが他職員の手本となるよう、次年度以降も継続して対応してまいります。

【苦情解決関連】

苦情件数は昨年度と比較して減少しました。苦情数減少の理由については、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、面会者数が昨年度と比較して約9割減となっている事も要因の一つと考えられます。次年度以降、新型コロナウイルス感染症の推移、終息の目処は不明確ではありますが、ご利用者やご家族の安心に繋がるよう対応してまいります。

次年度課題

- ・ 誤薬事故防止を重点に、服薬方法などの検討を行い、再発防止に努めます。
- ・ 人権や権利擁護、事故予防の勉強会やシンポジウム、研修に委員中心で参加し、事例や対応方法を学びます。

次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月 1 回委員会開催します。 ・ 年 2 回事故予防、高齢者虐待及び身体拘束防止研修を開催します。 ・ 事故予防やリスクマネジメント・身体拘束関連の外部研修、勉強会の参加と内部伝達研修を開催します。 ・ 身体拘束適正化委員会を年 4 回（4 月・7 月・10 月・1 月）開催し、身体拘束のないケアを継続します。 ・ ご利用者の状況変化の際には、ケアの方向性について多職種で協議します。ご利用者の負担の少ない介助方法を検討及び推進します。 ・ 各階で発生した事故や予防策を委員で共有し、類似事故の減少に努めます。 ・ 事故対策が身体拘束や行動制限に繋がる可能性がないか検証します。
----------	--

(4) 総務委員会

開催回数・出席人数	4 月・・・開催無し	10 月・・・5 名
	5 月・・・7 名	11 月・・・5 名
	6 月・・・5 名	12 月・・・5 名
	7 月・・・6 名	1 月・・・6 名
	8 月・・・5 名	2 月・・・6 名
	9 月・・・開催無し	3 月・・・6 名

ア 防災

令和 2 年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動に伴い災害の発生リスクが高いため気象情報を収集し全職員で情報の共有や早期の対応に努めます。 ・ 入職1年に満たない職員も多いため防災訓練を通じて「災害の疑似体験等」災害の恐さや準備の大切さを肌で感じ、学んでいく場とします。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症予防の関係で、大がかりな夜間想定避難訓練は出来ませんでした。消防本部からの助言・指導により初期消火や初期避難行動の実際的な動きの確認としての訓練を実施しました。 ・ 「起震車による大地震体験、水消火器による消火訓練」や「消火栓を用いた消火訓練」は日程を変更し実施できました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症及び緊急事態宣言の影響により、年度初めに立案したスケジュールの実施が行政からの指導もあり大幅な変更を行わざるを得ませんでした。 ・ 今年度、火災報知器の誤作動が 3 回あり、その都度、ご利用者はじめ、大和市消防本部や近隣住民の皆様にご迷惑をおかけしてしまいましたが、火災報知器が作動すると騒然としてしまうことを痛切に感じました。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の重要性、災害の怖さや準備の大切さを学べる場をより多く設けられるように努めて参ります。 ・ 正確な情報収集や準備が備えられるよう日頃から努めて参ります。

次年度の取り組み	新型コロナウイルス感染症予防に取り組みながら、「防災」についての学びと話し合いの場としていきます。
----------	---

イ 物品

令和2年度目標	毎月末に棚卸しを確実に実施して、消耗品等の不足品が生じないように管理すると共に、保管室内の衛生環境の保全に努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> 毎月末に棚卸しを実施し、十分に在庫を確保いたしました。また、新しく物置を購入し、物品の整理にも努めました。 消費の著しい消耗品や価格高騰の衛生用品の使用については職員に節約を促し施設内で欠品とならないよう在庫を見つつ対応しました。 施設内で「清掃・消毒」目的のための電解水精製装置を購入してもらい、施設内での衛生対策向上や衛生用品の支出を抑える努力をいたしました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の衛生用品については、欠品や入荷が遅れ、全職員に節約を促しました。 行政からは、毎月マスクをはじめ多種多様な衛生用品や感染予防対策用品が沢山寄付され感謝いたしました。
次年度課題	現在、市場にて消耗品や衛生品等は品薄にはなっておりませんが、今後価格高騰が起こりうる状況を鑑み、万が一の際に迅速に対応する事を踏まえ情報の収集を欠かさずに検討・準備してまいります。
次年度の取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響も収まらず今後も、消耗品や衛生品等の需要が高くなることを見据えながら不足品が生じないように在庫の管理をしっかり行い、保管室内の衛生環境保全に努めます。

(5) 行事企画担当

令和2年度目標	年間行事を基に、ご利用者に季節感を感じて頂けるような行事を企画します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策下の中、「夏祭り」「敬老会」「バザー」の全体的行事が密を避けるため、残念ながら中止となりました。 各ユニット毎に「夏祭り」「敬老会」など行い、小規模ながら、季節を感じていただけるような行事を行いました。
反省点と要因	新型コロナウイルス感染症対策下の中、実行するのか中止するのか、判断が難しく、対応がとても難しく感じました。その中でも、他職種と連携をとり、感染拡大に注視しながら、行えたことは来年度以降に活かせると考えています。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策は続くと考えられます。今年度の経験を活かし、小規模の行事であると踏まえ、年間計画を立てています。 行事についてはコロナ禍での開催は小規模もしくは、人と人の密を避けるための工夫をし、他職種と連携をとり、ご利用者に楽しんでいただける行事を作り上げていきたいと考えています。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 庭園の散歩など、日頃から行える外出の機会を設け、ご利用者に季節感を感じていただけるよう努めます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、中止になってしまった行事が来年度はいかにできるのかを社会状況を踏まえて検討致します。
--	---

5月4日～6日	菖蒲湯
7月7日	七夕
8月1日	夏祭り（新型コロナウイルス感染症予防のため、全体行事としては中止）
8月25日	喫茶
9月16日	敬老会（新型コロナウイルス感染症予防のため、全体行事としては中止）
10月25日	バザー（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）
11月21日	お寿司屋（行事食として実施）
12月21～23日	ゆず湯
12月27日	餅つき
1月1～2日	初詣（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）
1月3日	お囃子、獅子舞（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）
1月1日～3日	新年挨拶（お屠蘇・お年賀）
2月3日	節分
3月2～4日	ひな祭り
3月19日	花火見学 大和東小学校
3月末	花見ドライブ（新型コロナウイルス感染症予防対応のため中止）

令和2年度研修実績

令和2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパス制度に基づき、各職員の能力・適正に応じた研修や勉強会を実施し、施設全体の基礎力アップや資格取得等に繋がります。 ・ご利用者へのサービス向上のための知識及び技術向上を図るものとともに、職員定着率を高めます。
取り組み評価	<p>【教育担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入職の職員は経験・未経験問わず、研修を行うことは出来ましたが、定期的な評価を行うことには至らず、継続的な職員教育には不十分なものとなりました。 ・基礎的な技術などは、他部署との連携をもちながら、必要な職員へ働きかけ、個の能力を伸ばし、基礎力のスキルアップを行えました。 ・職員の能力などを加味し、階層別にそれぞれにあった研修は、2回の研修実施に終わり、職員のスキルアップや意識覚醒には不十分なものになってしまいました。 <p>【研修担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加を促し、内部研修を行い、伝達研修を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症対策のもと、研修が中止になるものが多く、研修をどのように参加できるのかを模索する一年になりましたが、オンライン研修を行えるようになったことで、職務中に一定の時間を設けることで、研修に参加し、

	職員のスキルアップを図ることができました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策の下、計画していた研修が中止になり、派遣できない期間が長くなってしまいました。 ・ 施設にて、パソコンなどの環境設備を行い、オンライン研修を行えるようになったため、後半は、積極的に参加し活用することができました。

【内部研修】

研修種別	内容	人数
階層別研修Dグループ研修 4月16日(木) 施設課 講師：小泉施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉士の義務とは ・ 自己覚知はできているか ・ 所属ユニットのご利用者の既往歴の理解 	10名
階層別研修D2グループ研修 5月4日(月) 施設課 講師：小泉施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉士の義務とは ・ 自己覚知はできているか ・ 所属ユニットのご利用者の既往歴の理解 	4名
新人研修 5月7日(木) 施設課 講師：山本主任	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴時のご利用者対応 ・ 移乗時の注意事項 ・ 事故の報告・連絡・相談 	9名
食中毒研修 5月14日(木) 感染症・褥瘡予防委員会 講師：井内管理栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒について各論 ・ 手洗い方法について 	16名
接遇・マナー研修 5月18日(月)・28日(木) 人権擁護委員会 講師：人見主任	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「接遇」「マナー」の違い ・ 介護における5大接客マナー 	28名
オムツを使用している高齢者の陰部ケア 6月11日(木) 人権擁護委員会 講師：山本主任、大内看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 失禁に伴う皮膚炎や感染症、褥瘡のリスク ・ 褥瘡の発生しやすいご利用者の特徴と要因 ・ 褥瘡の予防について ・ 陰部洗浄の目的・手順・観察事項 	15名
体位変換について 6月13日～27日の5日間 感染症褥瘡予防委員会 講師：山本主任、内田機能訓練指導員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体位変換の目的と意味 ・ 体位変換とポジショニングの実演 ・ シーティングの実演 ・ 下肢機能低下で最近ADLが低下しているご利用者の立位保持について 	24名
法令遵守・プライバシー保護研修 7月8日(水)・14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令遵守の意義・必要性・実務における理解 	25名

<p>人権擁護委員会 講師：片桐主任、下野相談員 内田機能訓練指導員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守管理規定の内容理解 ・職員倫理規定の内容理解 ・プライバシーの保護の実際 	
<p>新型コロナウイルス感染症研修 7月6日～8日、10日 人権擁護委員会 講師：人見主任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止と注意喚起 ・施設での取り組み確認 	45名
<p>新型コロナウイルス感染症研修 8月6日（水） 施設課 講師：大内看護師</p>	<p>手指消毒と手指衛生の徹底について</p>	13名
<p>高齢者虐待防止研修 8月13日（木） 人権擁護委員会 講師：土屋フロアリーダー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止、高齢者虐待防止法の理解 ・当施設で起こった事例検証 ・ご利用者、ご家族が深い・疑問に思っているケアと不適切なケア ・高齢者虐待を防ぐための施設理念の共有とリスクマネジメントにおける組織運営の健全化 	13名
<p>感染症研修 10月15日（木） 感染症委員会 講師：古橋リーダー、福野介護職員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザについて ・ノロウイルスについて ・嘔吐処理方法について 	22名
<p>看取りの導入時期とその後のケア 12月10日（木） 施設課（医務） 講師：松尾看護師</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りの定義 ・看取りの導入時期とその後のケア ・人が自然になくなる過程 ・ご利用者の状態に応じた介護の実践 ・死亡直前に出る症状 ・職員の振り返りカンファレンス 	18名
<p>感染症研修 12月17日（木） 感染症・褥瘡予防委員会 講師：関介護職員・小倉介護職員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザについて ・ノロウイルスについて ・嘔吐処理方法について 	14名
<p>高齢者虐待防止研修 令和3年1月14日・27日 2月5日 人権擁護委員会 講師：人見主任、篠崎リーダー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検シート実施 ・自己点検シート解説 ・高齢者虐待事例説明 	57名
<p>事故予防研修 令和3年3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設マニュアルより事故予防への考え方 ・イラスト使用による実習 	28名

人権擁護委員会 講師：鈴木リーダー、甘利リーダー	・ヒヤリハットの説明	
-----------------------------	------------	--

【外部研修】

研修種別	内容	参加者
介護福祉士ファーストステップ研修領域Ⅰ 令和2年7月10日～10月4日【6日間】 主催：神奈川県介護福祉士会	・「ケア」領域 ・「連携」領域 ・「運営管理」領域	古橋
「福祉の魅力を伝えるプロジェクト」 令和2年8月1日～令和3年3月31日 【4日】 主催：大和市社会福祉協議会	・大和市に在住・在学している学生に向け、「福祉」の魅力を伝える取り組み	鈴木
高齢者福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策研修 令和2年8月18日 主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会	・「再流行にそなえよう 新型コロナウイルス感染症」 ・個人防護具の正しいつけ方・外し方 ・施設空間のゾーニングの方法 ・感染者が発生した場合の対応事例	山本
尊厳を支え自立支援に配慮した介護技術 令和2年8月23日 主催：神奈川県介護福祉士会	介護するときの姿勢	山本
らくらく介護実習 令和2年9月9日 主催：神奈川県立保健福祉大学教育実践センター	北欧の持ち上げない移動・移乗の研修	山本
介護福祉士ファーストステップ研修領域Ⅱ 令和2年10月21日～11月27日【3日間】 主催：神奈川県介護福祉士会	的確な判断、対人理解に基づく、尊厳を支えるケアが実践でき、小規模チームリーダーや初任者等の指導係として期待できる職員の養成を目的とする。	古橋
令和2年度第1回大和市多職種共同研修 令和2年11月12日 主催：大和市人生100年推進課 認知症施策推進課	2020年の2つの話題 ・コロナ時代の認知症カフェ ・新規認知症薬のジェネリック登場 など	内田 奥
北海道内高齢者施設クラスターの事例から考える新型コロナウイルス感染症対策 令和2年11月17日（火） 主催：大和市人生100年推進課 認知症施策推進課 大和市医師会在宅医療 介護連携センター	実際に起きたクラスターの事例から当施設における予防策と職員への注意喚起の大切さ。	人見
社会福祉士実習指導者講習会	社会福祉育成のための実習受け入れにかか	下野

令和2年11月22日・28日・29日 主催：学校法人藤仁館学園	る指導者の養成	
新型コロナウイルス感染症対策研修 令和2年11月28日 主催：光洋ディスパース 講師：山田滋氏	施設経営責任者・現場責任者対象セミナー (新型コロナウイルス感染症対策)	土屋
介護福祉士ファーストステップ研修領域Ⅲ 令和2年12月17日～令和3年3月17日 【6日間】 主催：神奈川県介護福祉士会	的確な判断、対人理解に基づく、尊厳を支えるケアが実践でき、小規模チームリーダーや初任者等の指導係として期待できる職員の養成を目的とする。	古橋
介護福祉士実習指導者講習会 令和3年1月21日～2月11日【4日間】 主催：神奈川県介護福祉士会	「介護実習」を指導する社会福祉施設等の実習指導者が必要な専門的知識及び教育方法を習得するための講習	山本 鈴木
介護ロボット導入・活用研修 令和3年1月28日 主催：横浜市総合リハビリセンター 後援：かながわ福祉サービス振興会 【オンライン研修】	<ul style="list-style-type: none"> 介護ロボット普及推進の取り組み 介護ロボット導入のケーススタディ 介護ロボットの紹介 	内田
褥瘡対策研修 令和3年2月4日(木) 主催：格式会社モルテン 【オンライン研修】	<ul style="list-style-type: none"> 褥瘡対策やポジショニング 転倒・転落対策、寝具環境における感染対策 	内田
車椅子シーティングの理論と実際 令和3年2月23日 主催：神奈川県総合リハビリテーション事業団 【オンライン研修】	<ul style="list-style-type: none"> 車いすシーティングに必要な基礎知識 車いす作成や選定に関わる知識と対応 	内田
福祉施設におけるBCPセミナー 基本的考え方から策定・運営手法まで 令和3年3月2日 主催：損害保険ジャパン株式会社 SOMPO リスクマネジメント株式会社 【オンライン研修】	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画とは 事業継続計画の作成方法 事業継続計画の運営手法 	佐藤 多田 人見 山本

イ 行事企画

令和2年度目標	年間行事を基に、ご利用者に季節感を感じて頂けるような行事を企画します。
取り組み評価	・新型コロナウイルス感染症対策の渦中、積極的な取り組みが行えませんでした。「夏祭り」「バザー」など実行員会を立ち上げ、社会状況を見極めながらの状況でしたが、実行を断念せざる負えない状況となりました。

	・小規模ながら、フロア毎のイベントを行ったり、初詣など外出行事ができなかったため、お屠蘇・お年賀などで季節感を出す工夫に努めました。
反省点と要因	・新型コロナウイルス感染症対策を重点におきながらの一年になり、密を避けることに配慮することになってしまいました。ひとりひとりのご希望に沿う努力や工夫が不足していました。
次年度課題	・年間行事を基にご利用者に四季を感じて頂けるような行事を企画します。 ・新型コロナウイルス感染症対策と社会情勢を踏まえたうえで、その時の情勢に合わせた対応をいたします。

ウ ボランティア活動

令和2年度目標	地域住民や学生ボランティア受入を推進し、地域との連携を深め、ボランティアとご利用者との交流の場を設けます。
取り組み評価	新型コロナウイルス感染症対策の渦中、積極的働きかけはできませんでした。
反省点と要因	お花クラブや書道クラブについては、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染防止により、開催することはできませんでした。しかし、ユニット内の催し（おやつレクや誕生日会）の定期開催や施設庭園の散策等を重視し、ご利用者が楽しむことのできる機会を設けました。
次年度課題	・新型コロナウイルス感染症対策渦の社会情勢を見極め、地域住民や学生ボランティア受入を検討し、地域との連携をとり、可能な範囲でボランティアとご利用者との交流の場を設けます。 ・ボランティアセンター等のインフォーマルサービスの利用及び紹介や口コミによる募集にて行います。
ボランティア実績	新型コロナウイルス感染拡大防止により、受け入れ実績はありません。

エ 外部機関との関わり

取り組み	新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言発令などにより、外部機関との関わりとして、障がい者施設が販売事業（パン・弁当・マフィン等）をおこなえない等の相談があり、施設内での職員向けの販売協力をおこないません。 ・社会福祉法人 県央福祉会 ワークステーション菜の花…マフィン・雑貨等 ・社会福祉法人 県央福祉会 希望の家…パン等 ・社会福祉法人 県央福祉会 クレイヨンピピー…お弁当等
------	--

オ 外部からのご支援

取り組み	新型コロナウイルス感染症防止のため、ご利用者及び施設職員の為に、個人または企業の皆様より、お花及びマスク、アルコールジェル、非接触型電子体温計等、多大なるご支援を頂きました。ご協力頂きました企業につきましては、施設ホームページ及び広報等に記載致しました。
------	---

4 職員関係

(1) 職種別配置構成*総務課 非常勤 管理職者、清掃を含む。 令和3年3月31日現在

区 分		常 勤	非 常 勤	計
施 設 長		1		1
総 務 課 (宿直・営繕も含む)		4	5	9
介 護 (清掃も含む)		32	47	79
医 務	看護師等	6	1	7
	嘱託医師		3	
栄 養	管理栄養士	1		1
相 談	介護支援専門員	1		1
	機能訓練指導員	1		1
	生活相談員	4		4
計		53	56	109

(2) 資格取得構成 令和3年3月31日現在

区 分	常 勤		非 常 勤	
	男性	女性	男性	女性
介護福祉士	21	3	5	6
初任者資格	7	5	1	7
実務者研修資格	4	2		
医師及び歯科医師			2	1
看護師		4		1
准看護師		2	1	
社会福祉士	2			
社会福祉主事任用資格	10		1	
介護支援専門員	4	2	1	2
管理栄養士		1		
柔道整復師	1			

(3) 実習・見学・講師派遣関係

<見学>

*令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、見学の受け入れは行いませんでした。

<講師派遣>

*以下の団体に職員を講師として派遣いたしました。

依頼団体	月日	内容及び会場	派遣者名
柏木学園研修センター	7月10日	初任者研修	小泉 昇

神奈川県西部総合技術校	7月14日	就職施設説明会	小泉 昇
大和商业高等専修学校	7月15日	初任者研修	下野 克治
柏木学園研修センター	8月21日	初任者研修	人見 伸吾
柏木学園研修センター	8月26日	初任者研修	小泉 昇
柏木学園研修センター	8月26日	初任者研修	小泉 昇
柏木学園研修センター	9月2日	初任者研修	小泉 昇
柏木学園研修センター	10月9日	初任者研修	人見 伸吾
柏木学園研修センター	10月13日	初任者研修	人見 伸吾
大和東小学校	11月9日	車椅子体験	介護主任・生活相談員
大和商业高等専修学校	11月12日	初任者研修	下野 克治
柏木学園研修センター	11月13日	初任者研修	小泉 昇
大和商业高等専修学校	12月1日	初任者研修	小泉 昇
柏木学園研修センター	12月14日	初任者研修	人見 伸吾
柏木学園研修センター	1月22日	初任者研修	小泉 昇
大和商业高等専修学校	1月26日	初任者研修	人見 伸吾
柏木学園研修センター	2月17日	初任者研修	人見 伸吾
柏木学園研修センター	3月26日	初任者研修	小泉 昇

<実習>

*以下の機関の実習を受け入れました。

実習機関	実習時期及び延人数	実習資格
神奈川県社会福祉協議会	9月28日～10月23日7名	教員免許取得介護等体験

<研究協力>

*以下の機関の実習を受け入れました。

研究機関	実施時期及び延人数	研究内容
大妻女子大学	10名	介護福祉士の自己覚知（アンケート協力）

5 令和3年度に向けて

令和3年度につきましては、事業計画書にて詳細に説明をいたしておりますのでご一覧ください。令和2年の監事監査にてご助言いただいた内容を参考として、以下の通りに進めてまいります。

改善に向けた活動

- ①第三者評価の受審を行い、サービスの改善（気づき）を行ってまいります。また、受審にあたり受審項目から書式・体制の見直しを進めてまいります。
- ②人材育成のためのプログラムの見直しと、継続的研修を進めてまいります。介護技術につきましては介護福祉士の教材を導入と講師派遣を依頼し他研修を実施いたします。
- ③グループ別研修の推進とグループ単位毎のコミュニケーション関係を取り、自己評価を実施し、結果から職員体制の改善をおこなってまいります。
- ④個別ケアを推進し、個別ニーズを理解しプランに基づくサービスを展開してまいります。